

令和6年度 第4回小布施町上下水道事業運営審議会会議録（要旨）

開催日時：令和7年7月15日（火）午後2時

場 所：小布施町公民館第1学習室

出席委員：穴山会長、布目会長代理、畦上委員、川上委員

須山委員、竹村委員、寺島委員、三輪委員

欠席委員：橋本委員

事務局：山本、下田、荒井、小山

オブザーバー：新日本設計（株）

主な質疑内容

委 員：施設の耐用年数は。

事務局：資料で説明。管類は40年、機械電気設備は10年から15年のものが多い。

委 員：資産維持費とは。

事務局：施設更新に対する物価上昇や機能向上を考慮した費用を利益として確保するもの。

委 員：施設の耐震化はどうするのか。

事務局：施設更新時に耐震化も含めて行っていきたい。

委 員：料金の見直しを5年後ではなく3年後に出来ないのか。その方が改定率を抑えられるのでは。

事務局：次回の審議会までに資料を作成します。3年ごとの見直しはスケジュール的に難しい面があります。

委 員：人口推計はどのようにしているのか。観光人口の影響は。

オブザーバー：コーホート要因法を採用している。観光人口の影響は大きくない。

委 員：水道事業会計の令和6年度決算の利益が令和5年度より減っている要因は。

事務局：主な要因は、新設した低区配水池の減価償却費です。

委 員：公共下水道と農業集落排水の使用料は別なのか。

事務局：公共と農集をあわせて下水道事業会計となり会計が統一された。使用料も統一していきたい。